資料 3-2

これまでの主な検討経緯と今後の検討イメージ

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度以降
地域公共交通総合連携計画 （策定 H23.3、計画期間 H23 年度～H32 年度）	計画検討 策定（H23.3）				計画期間：H23 年度～H32 年度			連携計画の充実
■公共交通サービスの提供								
●本町周辺地区、南地区への提供 ・サービス提供地区の選定 ・運行計画の検討 ・実証運行、本格運行の評価 ・サービス提供内容の検討（ダイヤ、運行経路など）	地区選定・運行計画検討	利用実績、地域の意向等を踏まえ、サービス提供内容の変更などを検討 実証運行（H23.10～H25.9）		市の費用負担割合や連携計画策定趣旨との整合等から評価（⇒本格運行へ移行）			随時、利用実績、地域の意向等を踏まえ、サービス提供内容の変更などを検討 本格運行（H25.10～）	
●北新町地区、萩の台地区への提供 ・サービス提供地区の選定 ・運行計画の検討 ・実証運行の評価 ・サービス提供内容の検討（ダイヤ、運行経路など）				地区選定・運行計画検討	利用実績、地域の意向等を踏まえ、サービス提供内容の変更などを検討 実証運行（H26.10～H28.9）		H28.10 以降の対応方針を検討（次回協議会以降）	
実証運行、本格運行により得られた知見を反映し、検討								
■今後の検討課題案								
●公共交通サービス提供ルールの検討 ・利用者と市の負担割合などの検討 ・新たな評価基準の検討		新たな評価基準として、「全路線の合算評価」や「個別路線の沿線人口に対する利用者数の割合」の適用を検討				評価基準検討（実地中）		
●主な活動拠点への公共交通サービスの提供に関する検討 ・着地側の公共交通サービスの現状評価 ・問題点の抽出、検討すべき課題の整理 ・着地側で提供すべきサービス水準の検討					現状評価（実地中）		提供すべきサービス水準の検討 市内の公共交通のあり方に関する検討	
●公共交通サービス提供内容の検討 ・既存バスの再編（ルートの変更など）を含めた総合的な公共交通体系の検討 ・乗継利便性（待ち環境、乗継運賃割引ｻｰﾋﾞｽなど）の検討 ・公共交通結節点までの移動手段（ｻｲｸﾙ&ﾗｲﾄﾞなど）の検討			*あすか野南地区におけるバス路線の延長運行（H25.6） ※地元自治会と事業者の協働*					今後の検討課題、検討の進め方を決定し、順次検討を進める
●公共交通サービス提供地区、優先順位の選定方法の検討 ・地域独自で考えたことを優先順位に関わらず提供できる仕組みづくりの検討 ・地区選定や優先順位選定にかかる追加指標の検討			地区選定、優先順位選定の指標として、「公共交通族」を追加（⇒北新町地区、萩の台地区の選定に適用）					
●コミュニティバス利用増進策の検討 ・PR（広報）方法や回数券半券提出による割引きなど利用増進策の検討			*南地区、萩の台地区における回数券購入などを地域の取り組みとして実施*					
●公共交通以外のサービスとの連携検討 ・福祉施策や買い物サービスなどとの連携								